

一年生必見！

正しいレポートの書き方を知っていますか？
今のうちから正しい書き方を覚えよう！

レポートは難しい？そんなことはありません！
書き方のコツさえつかめば簡単です！
一緒に確認してみましょう！

レポート作成の基礎知識

一年目に"気づく"か、三年目に"焦る"か。信大生を想って作りました！

○レポートとは？

①自分の主張を証明するもの

レポートとは自分の主張の証明です。テーマに対する自分の考えが正しいと説得することが目的です。

- ・ その主張がなぜ導き出されたのかを説明
- ・ 主張には必ず、根拠が必要

③授業の内容を踏まえる

授業で習った事やキーワードを基に書きます。

- ・ レポートを書く前に授業で学んだことを復習
- ・ 疑問が生じたら授業資料に立ち返る

②感想ではなく考察

考察には必ず理由や根拠、証拠が必要です。

例) 地球温暖化の進行速度は異常だ。

→「地球温暖化が進行している」「その速度が異常だ」と誰もが判断・納得できるデータを示した上で論を展開できていれば考察、そうでなければ感想です。

④主張を1つに絞る

1つのレポートで主張は1つです。
主張を1つに絞ることで、一貫性が生まれ、自分の主張が伝わりやすくなります。

○レポートのタイムスケジュール

0 準備

- ✓ タイムスケジュールをたてる。
- ✓ 授業内容を復習する。
- ✓ 課題指示文書をしっかり読む。

1 調べる

参考文献（先行研究やテーマに関する書籍、新聞、データなど）を選ぶ。



インターネット上の情報についてはその信憑性を慎重に判断して利用しましょう。

→ 詳しくは、

『新入生ハンドブック』第6章

『信州大学附属図書館利用案内』

eALPSコース「文献探索ガイダンス」

などを参考にしましょう。



2 考える

構想・まとめ方などを考える。

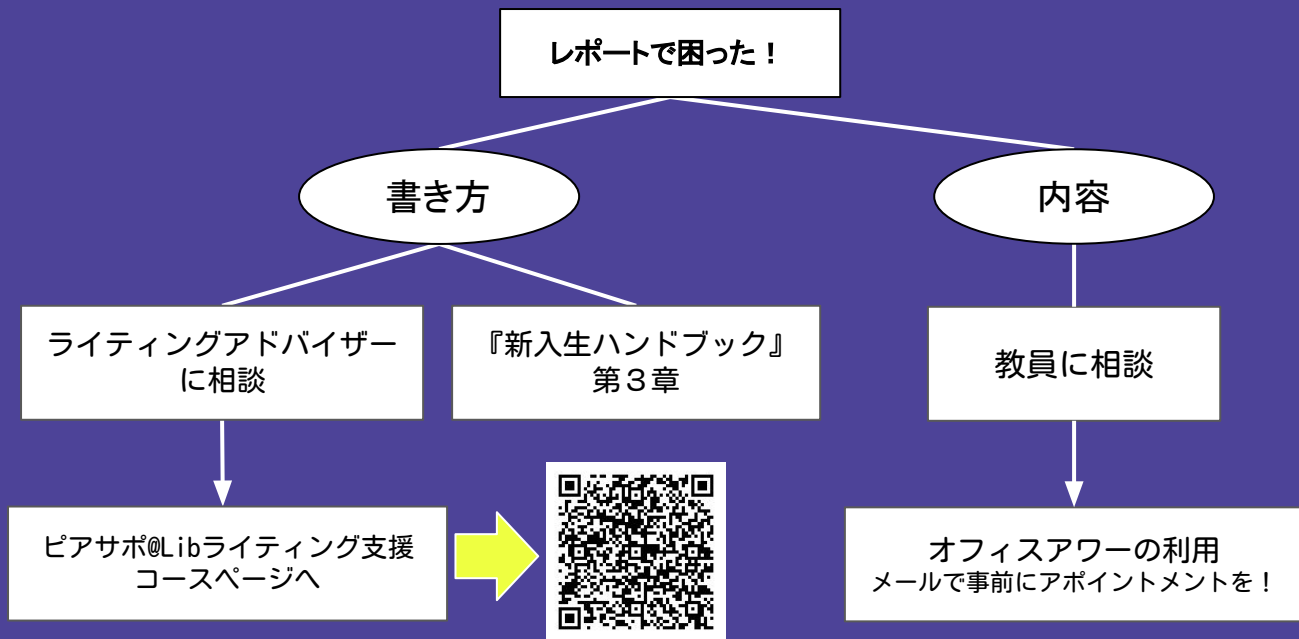


すぐに書き始めてしまうと、まとまらなくなってしまう可能性も！！


0準備→3書くに7-10日はかかる
3書く→4見直しは最低1日空けよう
締切ギリギリを攻めるのは避けよう！

3 書く 自分の主張を書く。（考えた構想・まとめ方を基に、実際に書く）

 レポートで困ったときは、下の図を参考にしてください！



4 見直す 提出前に見直し（推敲）をする。

 課題指示文書と照らし合わせて読み直す。
文献リストの内容、誤字脱字がないか、読みやすさなどをチェックしましょう。
レポートを印刷したうえで行うのがおすすめです。

※やってはいけないこと

- 友達と相談してはいけません！
- 引用の出典元は明記しなければいけません！
「剽窃」という犯罪行為になる可能性があります。（詳しくは新入生ハンドブックp. 42へ）

確認してみよう

- 課題指示を読んだ？
- 内容は授業に沿ってる？
- 正しく段落分けできた？
 - 第一文に主張を書いた？
 - 第二文に根拠や理由を書いた？
 - 第三文以降に具体例を書いた？

↓
新入生ハンドブック
p.39を要チェック！



中央ナナちゃん
信州大学附属図書館
マスコットキャラクター